

# きょうわ

協和小学校

学校通信

2011

9/22

No. 30

平成23年度 協和小学校教育目標

自立への芽をはぐくむ

## チャレンジすることの大切さ …協和小「夢追い講演会」山本博先生をお迎えして

アテネオリンピックの銀メダリストで、アーチェリーの現役選手として今なお活躍中の山本博先生をお迎えし、9月20日に講演会を開催しました。演題は「夢に向かってチャレンジすることの大切さ」……。

先生は中学校1年生でアーチェリーと出会い、初めての競技会でビリになったそうです。ビリになったことはとても辛く、情けなかった。先生はアーチェリー部を辞めようと思ったと言います。しかし、「もし辞めれば、アーチェリーで

ビリになった自分を一生背負って生きていかなければならない」と思い返し、練習を工夫しながら努力を続けて好成績をおさめ、それ以来36年間競技生活を続けてこられました。

先生は講演の中で、「より豊かにより楽しく生きていくために自分を変えていく。そのため今から生活の何かを変えてみること。」「人生には一生懸命がらばったのに報われないこともある。思い通りにならないからといってやめてしまっはいけない。もう一度がんばってみる。もう一度がんばったことによって大きな成長やよい結果に結びつくことがある。」「頼まれたことは期待されていること。そのことを一生懸命やってみる。そういう気持ちの子は何かで成功する。」「どんな相手にもベストを尽くす。

人が見ていなくても限界に自分をもっていくことが大切。」と話してくださいました。

講演会後の感想やアンケートでは、「夢や目標に向かってがんばり続けることの大切さがわかった」「自分も目標に向かってがんばり続けたいと強く思った」「夢を実現するために、少しくらいの苦しさには負けないぞと思った」という記述があり、子どもたちの心に残る講演になったことがわかります。大きく心を揺さぶられた本校の子どもたち、その粘り強いチャレンジが今後も続きます。

最後になりましたが、今回の講演会はPTA文化部との共催で開催することができました。文化部の皆さん、PTA役員の皆さんに大変ご難儀をおかけしました。また、ご参加くださいました保護者、地域の皆さんにも心から感謝申し上げます。

